

3. 新たなまちづくり

3.1 モデル地区の将来像

3.1.1 まちづくりの理念

第五次東広島市総合計画において、これまでの発展の経緯や求めてきた理念を基盤として、集積した学術研究機能や、里山から田園、海まで広がる豊かな自然、多様な人材といった地域資源が相互に作用しあうことによって、「新たな価値」が生まれ、その価値が人びとの仕事や暮らしなど、あらゆる地域や場面で幅広く効果的に発揮されるようなまちづくりを、時代の転換期におけるまちづくりの理念としていることを踏まえて、選ばれる都市・大学となるべく、「世界に貢献するイノベーション創造のまち」と「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」を目指す。そして、これを実現することにより、市民の Well-being の向上を図っていく。

モデル地区はこれを実現するための先導的地域と位置づけ、成功事例を順次、周辺地域にも波及していく。

具体的には、以下の活動を展開していく。

- ・モデル地区において、Town & Gown 構想を核に産学官民連携をプロアクティブ^(※1)に推進し、進化するテクノロジーの研究・実証・最適な社会実装を実現するユニーク且つ持続的な共創スキームを構築する。
- ・東広島の人・自然を中心に、イノベーションの活気に満ち、全ての世代・ジェンダー・国籍の人が共存し、常にアップデートし続ける街づくり・人づくりを、社会・地域・大学の課題解決と共に、先導的・先進的、且つ大胆に推進する。
- ・この「100年先まで誇れる未来づくり」をポジティブピース^(※2)の先行モデルとして広島から日本全国及び世界に向け発信する。

期待する将来像は、次のとおりである。

- ・世界から起業家や研究者が集まるまち
- ・新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ・ゆとりと魅力ある居住環境の実現
- ・「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築

※1 プロアクティブとは

“前向き、積極的、先見的”のこと。

※2 ポジティブピースとは

“平和な社会をつくり、維持するために必要な態度、制度、仕組み”のこと。

より包括的な定義として、平和研究の創始者とされるヨハン・ガルトゥングが提唱した「積極的平和」という概念があるが、「負の平和」が直接的な暴力（戦争、武力衝突、物理的脅威など）がないことであるのに対し、「正の平和」は構造的な暴力（差別、経済的不平等など）がないため、人間社会がその潜在能力を発揮できる条件が揃っていることである。

「ネガティブ」が暴力の不在を意味するのに対し、「ポジティブ」が平等、調和、正義などの存在を意味するのはそのためである。

3.1.2 将来像実現のための仕掛け

将来の目指す姿として、「SDGs」「well-being」「ポジティブピース」を実現するためには、例えば、カーボンニュートラル、イノベーション、グローバルコミュニティといった持続性、先進性、多様性を兼ね備えたまちづくりに取り組む必要がある。

そこで、新たな仕掛けとして、「Town&Gown」の推進、企業を呼び込む仕組みとして「スマートシティ共創コンソーシアム」の形成、大学と都市がセットで選ばれるための「基盤構築」を行いながら、「多様性と調和のあるまちづくり～高度人材・地域住民に快適で刺激的なまち～」を目指していく。具体的には、次のプロジェクトに取り組んでいくものとする。

○イノベーションが起きる仕組みづくり

～快適性や利便性を含めた新たな価値の創出～

- ・イノベーションエコシステム^(※)の形成による新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ・データ活用により効率的な運営を実現するまち
- ・最新技術の取り込み

○グローバルスタンダードな生活環境づくり

～国際色豊かな魅力ある都市拠点の形成～

- ・カーボンニュートラルが実現したまち
- ・自然豊かな環境を活かしたゆとりのある居住空間
- ・仕事と生活のシームレスな環境を実現した先端技術のまち
- ・学生や外国人が定着し、活躍するまち

○人づくり（学びと実践）

～地域全体のグローバルな頭脳循環への参加～

- ・地域の視点も持つ「グローバル」な人材育成
- ・世界的課題と持続可能な未来が考えられる人材の育成
- ・質の高い多様な教育を受けられるまち

※ イノベーションエコシステムとは

“行政、大学、研究機関、企業、金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与し、絶え間なくイノベーションが創出される、生態系システムのような環境・状態”のこと。

3.1.3 まちづくりのアイデア

目指す地域の姿を実現するために、各分科会で議論された内容を踏まえ、活動を支える基盤及び「交通」「健康・福祉」「居住環境」「教育環境」「防災・防犯」「経済・生産」の6つの柱として整理する。

この「まちづくりの基盤と6つの柱」の展開イメージは以下のとおりであり、広島大学を中心として、東広島市内のみならず、世界とのつながりの中で各分野の施策を展開していくこととする。

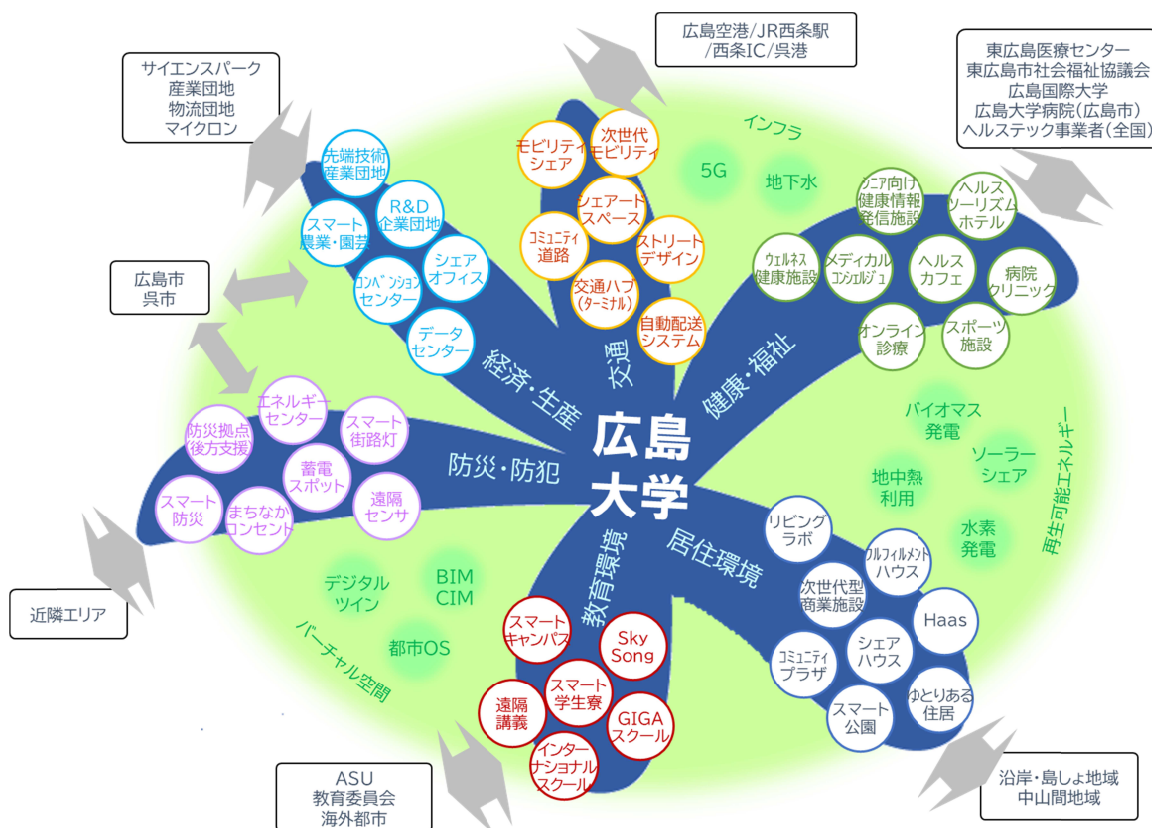


図 まちづくりの基盤と6つの柱の展開イメージ

各分科会の視点で検討された内容は、まちづくりの6つの柱に多様に関連、影響している。各分科会の検討内容をもとに、まちづくりの柱との関連性を整理したものを下表に示す。

表 まちづくりの柱と各分科会との検討内容との関係

| まちづくりの柱 | 分科会 | | | | | | | | | 備考 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------------------|
| | No1 | No2 | No3 | No4 | No5 | No6 | No7 | No8 | No9 | |
| 活動を支える基盤 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | データ連携プラットフォーム カーボンニュートラル |
| 交通 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 健康・福祉 | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 居住環境 | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 教育環境 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 防災・防犯 | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 経済・生産 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |